

公明党市議団として、市政の課題に対して提言！

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け諸施策の拡充を！

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組みについては、ボランティア体制の構築やパラスポーツの推進・オリパラ教育、更にインバウンド施策の強化や千葉市美術館の事業を含めた文化プログラム等、諸施策への拡充に向けて市長の考えを伺いました。



市長からは、インバウンド施策の強化について「本市の海辺や自然豊かな里山、谷津田など地域資源のほか、市原市や四街道市をはじめとする近隣自治体との広域連携の視点も組み入れ、東京にない独自の資源において、日本人と異なる価値観に基づく『CHIBA』の魅力を発掘し、その魅力をSNSの活用などにより海外に向けて効果的なプロモーションを行い、多くの訪日外国人を接客できる観光振興を目指します」との答弁がありました。

また、千葉市美術館の事業を含めた文化プログラムへの取り組みについては、「美術館では、日本の美意識をめぐる西欧での日本ブームの動向を意識する『ジャポニスム』の要素を加えた、大規模な浮世絵展を世界各国からの来館者を迎えるにふさわしい形で開催していく」旨の市長答弁がありました。

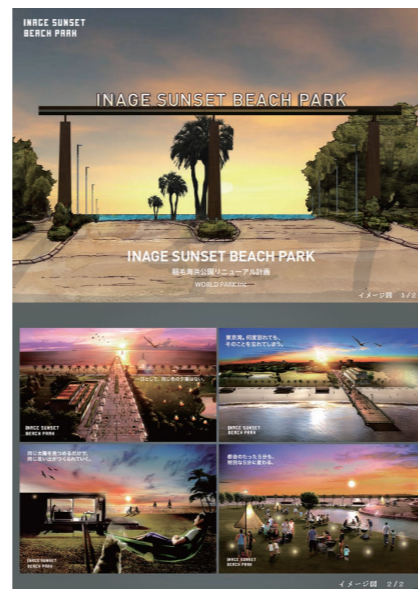
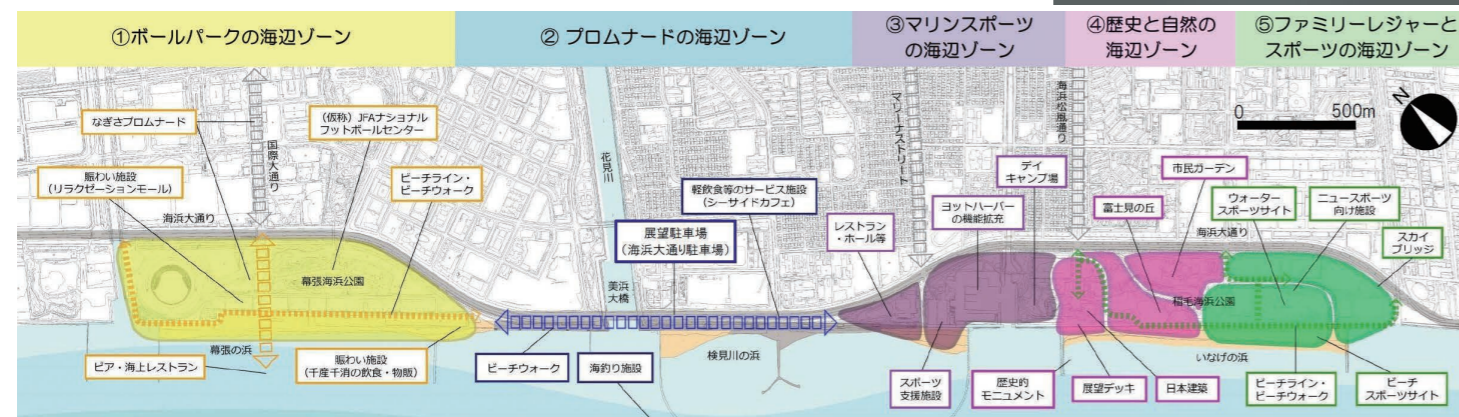
海辺の魅力を活かしたまちづくりを！

海辺のランドデザインの実現へ

千葉市の人工砂浜の魅力ある整備をめざす、「海辺のランドデザイン」実現に向けた具体的な取り組みを伺いました。「今年度は稲毛ヨットハーバーから千葉側（④歴史と自然の海辺ゾーンと⑤ファミリーレジャーとスポーツの海辺ゾーン）を対象として公募によるリニューアル整備・運営事業を進め、早期の事業展開に努める」と市長より答弁がありました。

今後、民間事業者から海辺の活用に関する事業提案を受けることになっております。魅力ある海辺を活かしたまちづくりを、市議団として推進してまいります。

いなげの浜へのウッドデッキ等の提案イメージ



共生社会の構築を目指して

LGBTについて、レインボー千葉の会の皆さんと意見交換

多様性に対する認識を広め、共生社会の構築に向けた取り組みの一環として、性的少数者LGBT当事者および支援者からなる「レインボー千葉の会」の代表の方々と意見交換を行いました。

同会は昨年1月に設立され、これまでLGBTへの理解を深めるための定期的な勉強会やフォーラム等を開催されています。また、当事者・支援者・市民・行政・議会などに向けてLGBT施策を充実させる働きかけを行っています。

意見交換では、LGBTを取り巻く環境が、当事者の生きづらさになっていることを改めて理解する機会となりました。市議団としては、これからも「誰もが自分らしく生きることができる社会」を目指してまいります。 ※LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字。

民間保育士の処遇改善を！

待機児童解消に向けた取り組みを推進

待機児童解消に向けた取り組みとして、県と市が連携し、民間保育所の保育士給与を3万円上乘せする「保育士等給与改善事業」が本年10月から始まります。また、昨年度から実施されている「保育士等宿舍借り上げ事業」については、国の補助制度が拡充されたことで、千葉市においても本年8月から、対象施設や居住対象者の拡大が図られます。



保育士等宿舍借り上げ支援事業（事業費：718万円）

対象施設	国の制度改正により企業主導型事業・小規模保育事業（C型）・家庭的保育事業が追加
居住対象者	雇用開始年度から起算して5年目を10年目の年度末までに拡充
助成額	月額8万2千円（上限）の4分の3
対象経費	賃借料・共益費・管理費・礼金・更新料等（敷金、仲介手数料、保証金等は対象外）

保育士等給与改善事業（事業費：3億6396万円）

対象施設	保育園・認定こども園・小規模保育所 事業所内保育事業所・家庭的保育事業所
対象職員	常勤勤務の保育士・保育教諭および看護師等
助成額	対象職員1人当たり、月額3万円

千葉市の加曽利貝塚が特別史跡に

縄文文化の解明・発掘拠点としてアピールを



国の特別史跡に昇格する千葉市の「加曽利貝塚」に縄文文化の解明と発掘拠点としての役割が期待されています。今後「加曽利貝塚」の歴史的価値のアピールと縄文文化を体験できる学習観光などの構想が検討されるとのことです。

市議団としては、歴史ある「加曽利貝塚」がより多くの市民に親しまれ、市民が誇れる場所に再整備されることを推進します。

今後の史跡活用のためには、交通アクセス改善や、史跡内園路および施設等のバリアフリー化を求めてまいります。